

少年女子東京代表 決勝 2 対 1 で和歌山を破る



▲日本一になった高校 3 年生の代表選手 4 人

撮影:高校生徒会役員

10 月 23/24 日に三重県のスポーツの杜 鈴鹿庭球場にて国体の代替となる「とこわかソフトテニス大会」が行われ少年女子東京代表として文大杉並の左近・竹和・五十嵐・若林・大野・鈴木・藤井選手が出場した。

ライブ配信越しに生徒が応援する中、決勝において和歌山代表を 2 対 1 で破り見事「日本一」に輝いた。

これにより文大杉並ソフトテニス部は 5 連覇を達成という快挙を達成したことになり、生徒の間でも盛り上がりを見せている。そこで、高校生徒会は今大会に出場した高校 3 年生 4 人にインタビューを行った。

今大会の感想

今大会の感想について選手四人と武元先生に取材したところ、武元先生は「まずはありがとうございます。勝つことができほっとしており、疲れた。」との事。

選手 4 人は「全国舞台で 5 位までだったことのやりきれなさや悔しさがあつた。だけど楽しんで戦うことができた」「仲間と一緒に戦えてうれしかった。」などと語った

今大会で大変だったこと

今回の大会において大変だったことについて取材したところ、武元先生は「勝たせなくてはならないというプレッシャーはあつた。しかし楽しみながらチームで頑張っていくことができた」と語った。選手 4 人は「先輩の強い姿を見て、国体は絶対に勝とうと頑張った。プレッシャーはあつたが前向きに練習をすることができた」と語った。

これからの目標

これからの目標について、武元先生は「三冠を最終目標に頑張っていきたい」と語った。選手四人は「大学でも経験を生かして高校よりパワーのあるテニスをしたい」「武元先生や後輩に恩返しをしたい」「支えてもらった後輩をサポートしたい」「大学でも日本一になり、世界でも活躍したい」などと語った。